

「影絵で楽しむ童話の世界とワークショップ」を開催しました。

11月12日（日）、「影絵で楽しむ童話の世界とワークショップ」をジャック・リー・ランダルさんと上野聡美さんをお迎えして開催しました。

影絵鑑賞会は、月岡小学校体育館を会場として、115名の方の参加。ジャックさん・上野さんによる歌・演奏から始まり、皆で歌に合わせて身体を動かして、会場が一つになった瞬間です。

影絵の演目は「The Big Bad Wolf」「Oh No! My Meatball!」。「The Big Bad Wolf」は「赤ずきんちゃん」と「三匹のこぶた」を合わせたもので、狼が共通のモチーフ。子どもたちも含め、話の内容を知っている方が多いお話でしたが・・・ストーリーがアレンジしてあって、新鮮な驚きがあって、楽しさも倍増です。



「OhNo! My Meatball!」は、「おむずびころりん」をアメリカ風にアレンジしたストーリーで、途中に登場するキャラクターも面白く、子どもたちからは自然に大きな声が出ていました。

会場を月岡公民館研修室に移して、「影絵ワークショップ」を開催。参加されたのは、事前に希望された、幼稚園・保育所の5歳児とご家族11組。来年春には、月岡小学校で一緒になる子どもたちです。

「どんなふうになるんだろう・・・」と思いながら、ジャックさんの説明に耳を傾けながら、まずは、型紙を切り取るところからです。切り取った型紙を、いくつかのパーツを使って、一つにして、動かしてみる。そして、懐中電灯で壁に映してみる。ぼんやりしていたものが、くっきりとした瞬間です。



次は、基本形に、いろいろなパーツを作って張り付けたら、切り取ったりしながら、どんどん形を変えていきます。

映してみても、また、少し手を加えてみる・・・を繰り返しながら、子どもたちもご家族も、とても楽しそう。ご家族も、子どもに戻って楽しまれているようです。

割箸をパーツの後ろにあててテープで留めると、パーツがシッカリして動かしやすくなります。

実際に映してみると、想像していた以上に面白く、惹きこまれてしまいます。ジャックさん曰く、影絵は自宅にあるものでできること、間違っても切り取っても簡単に直せることが、とても影絵に入りやすいと思います。厚紙・はさみ・カッター・セロハンテープ・糊・懐中電灯（スマホでもよい）・割箸など・・・そして、実際に動くというのが、いちばん楽しいと思います。



最後は、ジャックさんを囲んでの記念撮影。温かな空気が、会場いっぱいに広がりました。

